

## 幹本申第4号「盛岡新幹線車両センター業務の一部委託について」団体交渉を行う!! ③

### 5. 業務委託で生み出した要員を活用し、交番検査内で臨時修繕等の教育を行うこと

#### 会社回答「引き続き必要な教育は行っていく考えである」

組合	若手社員からは定例業務で手一杯で、学ぶ時間がないとの声がある。余力がある時には、若手に対して教育を行い成果も感じているが、研修やインターンなどで継続して教育が出来ていない。施策で生まれた要員は、交検に置いて教育するべき。
会社	検修技術の教育も必要だが、企画業務も含めて視野を広げる教育も必要。どちらがという事ではなく、どちらの教育も行っていく考えである。
組合	どちらも必要な事は分かるが、現場では臨時修繕が出来るのか不安という声もある。その不安を解消する事が必要な教育であるという共通認識をもって教育をつくっていきたい。
会社	不安を抱えながら業務をしていることは問題である。現場を確認してこれからも必要な教育を行っていく。
組合	これまでも議論してきたが、施策を通じて人材育成を行っていく事は労使の共通の課題という認識であり、職場から取り組んでいく。

**現場の声を集約し、必要な教育を行っていく事を確認!**

### 6. 交番検査車両の安全性確保はJR本体の責務であるため、グループ会社の作業体制を明らかにし、委託した業務の後確認体制等を明らかにすること

#### 会社回答「引き続きグループ会社と連携し、業務を遂行していくこととなる。なお委託先会社の体制は委託会社で決定することとなる」

組合	グループ会社は、重要な任務を担っているという認識を持って取り組んでいるが、不安も感じている。教育についての問題意識はあるのか。
会社	グループ会社の教育については不安がないよう、どの程度の見習い回数が必要なのかも確認し、教育スケジュールに則り進めてきた。トライアル当日も詳細探傷が発生したがしっかり判断を行っていた。問題は無いと認識している。
組合	フローでは詳細探傷までグループ会社が責任施工するとなっているが、契約に入っているのか。
会社	詳細探傷まで行う事になっている。仕様書にも盛り込む予定である
組合	グループ会社の出退勤時刻が変更となり、これまでより早く現場を離れるが、その後に発生した作業はどうするのか。
会社	グループ会社に対応して頂く場合と本体で対応する場合があります、ケースバイケースになる。偽装請負にならないよう、指導していく。

**車軸探傷業務の遂行は委託先業者で実施することを確認!**